

# シルバー 西原



自主 自立 共働 共助

発行元 公益社団法人 西原町シルバー人材センター  
 発刊 2020年(令和2年)8月  
 〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地  
 TEL(098)944-1699 FAX(098)944-1835  
 e-mail nishihara@sjc.ne.jp  
 URL : <http://www.town.nishihara.okinawa.ja/nishihara-town-silvercenter/index.html>

シルバーだより 第21号



## シルバー人材センター

### 基 本 理 念

- 自主・・・自分のものとして考え
- 自立・・・自分たちの力で育てる
- 共働・・・一緒になって働き
- 共助・・・お互いに助け合う



# 令和二年度 定時総会開催

令和二年六月九日（火）午後二時、西原町中央公民館において、令和二年度公益社団法人西原町シルバー人材センター定時総会が開催されました。

本総会は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止」の観点から規模縮小となった為、議決権を有する会員へは、議決権行使書、或いは委任状による代理出席とし、役員及び地域班班長を招集し開催となり、審議にあたる議長に崎間達三理事が選出され、上程議案の審議の結果、全て原案のとおり異議なく可決承認されました。

続く、報告第一号から第四号まで報告がなされ、特に令和二年度事業計画については、基本方針並びに数値目標を掲げ取組む旨、また、当該の事業計画に基づく令和二年度収支予算に係る理事会決議について説明が行われるなど、全ての日程を無事終りました。



議長 崎間達三(理事)



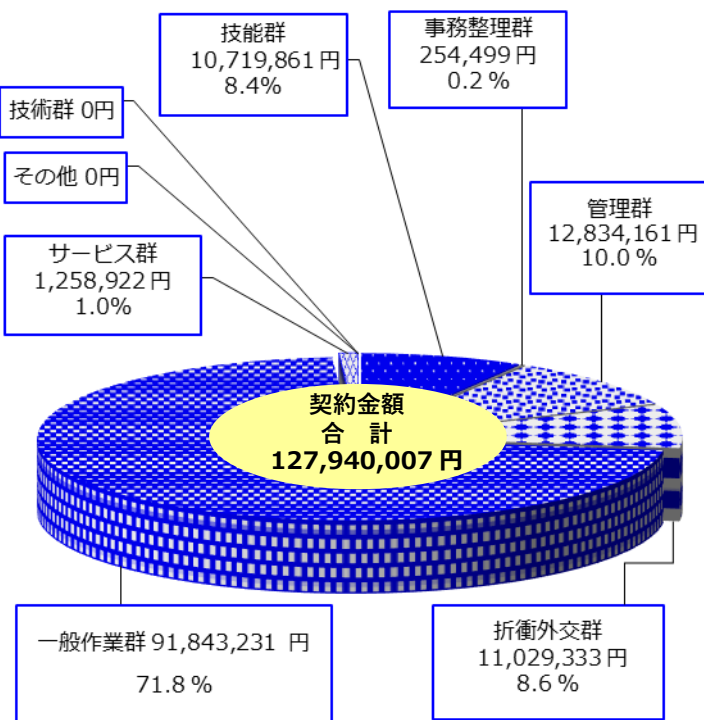
理事長 平良正一



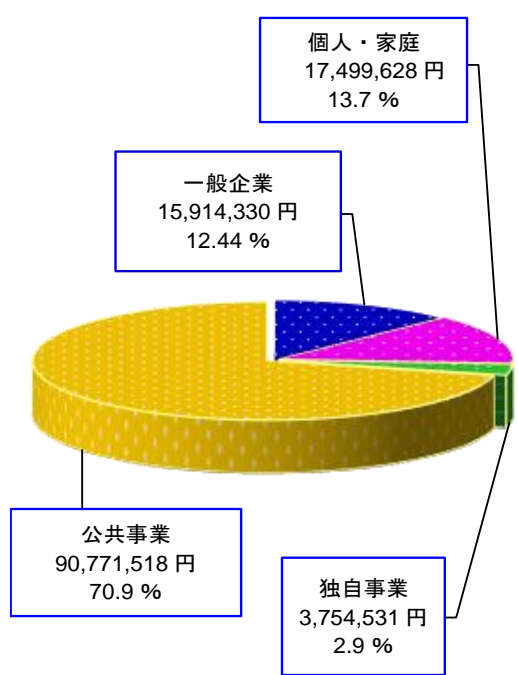
総会出席状況			
総会員数 (議決権総数(個)) 217名	内訳	正会員	213名
		特別会員	4名
出席会員数 185名	内訳	本人出席	16名
		議決権行使書面	26名
		委任状代理出席	143名

- 令和二年度 定時総会
- 議事
  - (議案第一号) 令和元年度事業報告
  - (議案第二号) 令和元年度収支決算
  - (議案第三号) 理事長に対する権限委任
  - (報告第一号) 令和元年度補正予算
  - (報告第二号) 令和二年度事業計画
  - (報告第三号) 令和二年度収支予算
  - (報告第四号) 配分金規約(配分金基準額)の一部改正

## ～ 職群別実績グラフ ～



## ～ 公共・民間別実績 ～





理事長あいさつ

平良正一

公益社団法人 西原町シルバー人材センターを代表いたしました。一言ご挨拶を申し上げます。

本日ここに、令和2年度 公益社団法人西原町シルバー人材センター定時総会を開催致しましたところ、会場皆様のご出席をいただき、心より感謝申し上げます。

ご案内のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模縮小となり、多くの会員の皆様には議決権行使書、或いは委任状での代理出席にご理解とご協力を頂きましたことに深く感謝申し上げます。

さて、急速な超高齢社会へと進展する中、本町の65歳以上の人口も、令和2年4月時点で、七、五一五人、総人口に占める割合は二一、二%と、高齢化率も上昇傾向にあり過去最高の数値となっております。

また、公的年金の支給開始年齢は65歳へ引き上げの途上にあるほか、企業の継続雇用の義務化など、高齢者を取り巻く社会環境の動向とともに多くの課題も顕在化し、少子化の加速、労働力人口の減少、更には高齢化に伴う介護・福祉・子育て支援分野の労働需要の増加といった社会情勢にあります。

これらの社会情勢を背景に、地域高齢者が活躍できる場の充実、高齢者のニーズに応じた多様な就業機会を提供するといった「生きがい就業」を促進するシルバー事業の果たす役割の重要性と、地域社会の期待は一層大きなものとなっております。

こうした中、令和元年度の事業実績を見ますと、受注件数、契約額ともに前年を下回りましたが、民間事業については就業機会創出員の取組みが功を

奏し、三、七〇〇万円余の実績で、前年比を8%の民間増となりました。また会員のボランティア活動については、前年度を3、8%の増と数値目標を上回るなど、会員の皆様が自らの就業の開拓や地域貢献といったセンター組織に相応しい成果であり、敬意を表するしだいで。

また、理事会においては、財政基盤の強化に向け、事務比率の改定とともに、令和元年10月の消費税率改定に伴う配分金単価の改定のほか、適正な消費税転嫁に取組みました。

一方で、会員数の減少など大きな課題を残す結果となり、会員確保の為のなご一層の効果的な取組みが求められており、理事会としても、会員の就業の平準化、確保に努めた退会抑制とともに、効果的な入会促進を図るよう本年度の事業計画に反映させたいところでありました。

これら会員拡大・就業機会の拡大が重要かつ急務な課題を残したことから、解決に向け、組織の責務を明確に捉えた高齢者の多様な就業機会を提供する「働く高齢者のワンストップサービスセンター」機能の強化に一層の努力が求められており、事務局へも諸事項の具体策を示し、着実な実践につなぐよう提言致しました。

また冒頭にも若干触れましたが、本事業年度開始の4月もご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の緊急事態宣言の中であり、就業活動を含む事業活動の自粛を余儀なくされ、特に、感染予防対策として朝礼の自粛に伴い、就業活動にあたる班長を始めとする役割の明確化と、事務局と班長及び就業会員の連携強化の取組みにより、感染リスクの抑制効果につながったものと高く評価するものであります。これを機に就業提供のあり方についても、班長を柱とした会員参画型就業体制とするグループ就業の確立を提案いたしております。

令和2年度は、コロナ禍による経済活動の停滞、事業縮小など、センター事業も尚一層厳しい運営を強いられることが予想されます。

したがって、センターは事業活動においても「新しい生活様式」の徹底、安全な就業環境の確保に努め、会員皆様の健康維持と感染防止策を第一に持続的に取り組むとともに、受注減少を危機的な課題と捉え、役職員が共通認識をもって、事業の回復に取り組むことと致します。

つきましては、本年度も厳しい財政状況にありますが、この難局を皆様との連携・協力の下、取組み、会員皆様おかれましては、「新しい生活様式」の徹底についても自らが行う感染予防措置を講じて頂きますよう、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

本日は、令和元年度事業報告・決算など案件として三議案の提案となりますが、いずれも重要な案件でございますので十分ご審議頂き、実りのある総会となります。

結びになりましたが、本日ご出席頂きました来場の皆様、会員の皆様の今後益々のご発展と、ご健勝を心から祈念いたしまして、私の挨拶と致します。



(2020年) 令和2年1月6日(月)  
年始式  
太田守昭安全・適正就業委員長から「この一年の安全就業」を願う乾杯!



写真で見る西原町シルバー人材センターの活動風景(令和元9月～令和元年11月)

9月

令和元年度公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会定時総会決議に係る要請行動



令和元年9月24日(火)、全国シルバー人材センター事業協会定時総会決議に係る要請行動を実施しました。  
 決議内容は『「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望』とし、会員増加の取り組み強化や人手不足分野等の労働力確保など地域社会発展への貢献に向けたセンターの役割を果たす旨の決意を示しました。要望としては、シルバー事業の推進の為に必要な補助金等の確保、公共からの事業発注の確保など、会員の就業機会を引き続きご支援・ご協力願いたい旨、要請しました。

10月

令和元年度『公益社団法人西原町シルバー人材センター普及啓発促進月間』の取組み



「のびるくん(アミノ酸液肥)」無償配布  
 500ml×250本 配布でPR



令和元年10月26日(土)～27日(日)  
 第22回 西原まつり  
 シルバー人材センターコーナー設置でPR



「かえるくん(特殊堆肥)」無償配布  
 2L×300袋 配布でPR



西原町まちづくり推進協議会補助交付金事業  
**花いっぱい運動**  
 公益社団法人 西原町シルバー人材センター TEL 944-1699

令和元年10月27日(日)～「花いっぱい運動」～  
 「令和元年度西原町まちづくり推進協議会補助金交付事業」の活用の下、100鉢(プランター)を西原町立学校、全6校を始め、沖縄キリスト教学院大学、町公共施設等に配布いたしました。



令和元年11月11日(月) 西原町役場  
 プランター(花苗) 寄贈



令和元年11月7日(木) 西原町立  
 東小学校 プランター(花苗) 寄贈



令和元年11月7日(木) 西原町立  
 西原中学校 プランター(花苗) 寄贈

## 11月 「病害虫対策講習会」(シルバーはい菜農園関連) ～栽培管理及び病害虫対策～



令和元年11月12日(火)、シルバーはい菜農園利用者(一般高齢者及び会員)を対象に「病害虫対策講習会」を実施いたしました。

「インゲン・からし菜」などの野菜類の基肥・追肥の栽培管理のほか、病害虫に有効な対策の指導等、映写機を用いた画像や資料に、受講者は、実践につながる内容だと講師の説明に聞き入りました。

講師： 沖縄県農業協同組合(JA おきなわ)  
西原支店 経済課  
課長 大城 孝嗣 氏

## 11月 令和元年度 視察研修(南部巡り) ～当初予定の「首里城公園」見学も実施～

ご承知のとおり、「首里城」は、令和元年10月31日未明の大規模火災により、正殿等多くが焼失したとあって、予てからの南部巡りコースの「首里城公園」散策も危ぶまれたが、予定通り組入れたところ、その痛ましい光景を目の当たりに、平良理事長よりセンターから再建に向け募金を募ってはどうかと提案があり、即、会員も快諾した。当日は、そのほか「識名園」、「沖縄空手会館」を巡り、沖縄の文化に触れるなど、楽しいひと時を過ごしました。



## ～「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止対策の徹底～

ご承知の通り、新型コロナウイルス感染症が感染拡大する中、今年度を迎え、4月16日には全都道府県が緊急事態宣言下に、続いて4月20日、沖縄県独自の緊急事態宣言が発出された。

県下、5月14日には、同宣言も解除されたものの、全国的には未だ収束とはならず、コロナウイルスの脅威に伴い「新しい生活様式」の徹底が求められ、更には今夏の猛暑における熱中症予防対策にも細心の注意を払わなければなりません。

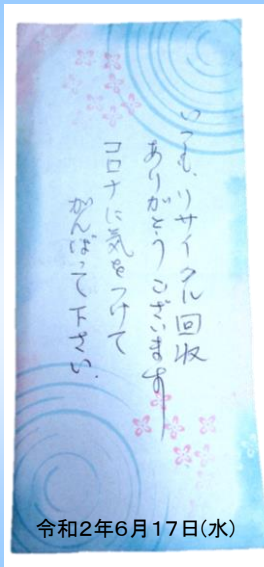
当センターにおいても、コロナ感染予防と、熱中症予防の両立が必要不可欠で、会員が安心・安全な就業環境の確保が最優先事項となりました。

本年3月には、当センターの事務局内で万が一、感染者が出ると、会員への就業提供及び就業の確保が停止するなど、センター機能そのものが停止することから、会員皆様の協力を得ながら、感染防止を徹底するよう理事会(理事長)から示されました。これを受け、事務所カウンターには、飛沫防止策を講じ、会員の出入りにも、一定程度制限をかけるなどして、ご理解とご協力を頂いているところです。

更には今夏の猛暑におけるコロナ感染予防については、適宜のマスク着用、ソーシャルディスタンス(人と人の距離を物理的に取る)といった防止策を、多岐に亘る職種ごとに取り入れ、熱中症予防策にも万全を期し、会員の安全就業の確保に取り組んでいます。



本町全域に亘って、「資源ゴミ回収」を担っている当センターでは、緊急事態宣言下においても町民の公衆衛生上、通常通りの回収業務が行われる為、行政機関へ感染予防の要請を行ったところ、3,750枚のマスクの配布がありました。その他、手袋・消毒液などは委託費に組入れられました。



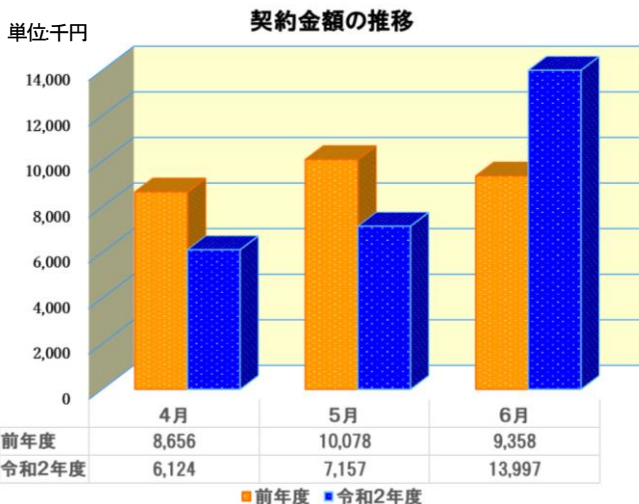
資源ゴミ回収業務の会員へ  
町民の方から～  
“労いの温かいメッセージ”

令和元年度 資源ゴミ回収  
西原町全域 (全32行政区)  
月曜～金曜日(土日・祝日除く)

会員就業延人員:4,358人日



## ～コロナ禍の影響による減収の回復・就業の確保に向けて～



緊急事態宣言下、会員の就業を含む活動の自粛により、4月、5月と受注契約の減少が見られたが、就業活動の再開や就業機会創出員の活動に伴い6月に入り徐々に回復基調にある。



会員の就業の確保に奮闘の就業機会創出員

👉 上、左側  
嘉手納良三さん  
👉 右、左側  
與那城 修さん



～安全就業の徹底～ 熱中症予防・コロナ感染予防の中で奮闘！

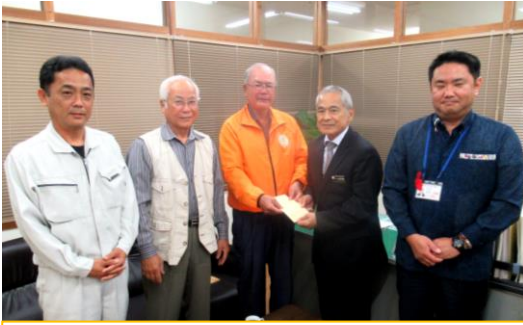
就業現場それぞれの場所で 共働・共助の下、気を緩めない安全就業！ “令和元年度 就業延人員:18,923人日”



令和2年7月10日(金)、第2回安全・適正就業委員会を開催、就業現場における安全・適正就業パトロールも実施された。

今夏の猛暑に玉城純男安全・適正就業委員から、夏場の就業開始時間を早めるなどの対策案・要望の声に、平良理事長は、予めから示している「サマータイム」の導入に触れ、班長協議の下、可能な業務内容から早期に実現するよう事務局へも促した。





「西原町社会福祉協議会資金造成「ふれ愛が  
ランドゴルフ大会」(当センター協賛)寄付金贈呈式」

当センターが例年協賛としている本大会は  
コロナ禍により中止となったが、善意で集ま  
った寄付金は、町社会福祉協議会大城幸哉会  
長、前田光智事務局長に手渡されました。

**寄付総額：18,500円**

(令和2年3月10日(火) 町社会福祉センターにて)



「首里城再建募金寄託式」

首里城焼失を受け、当センターは募金箱  
を設置し、会員及び役職員から募った温か  
い再建支援のための募金をセンターを代表  
し、平良理事長、太田地域班班長より西原  
町行政へ寄託いたしました。

**募金総額：45,460円**

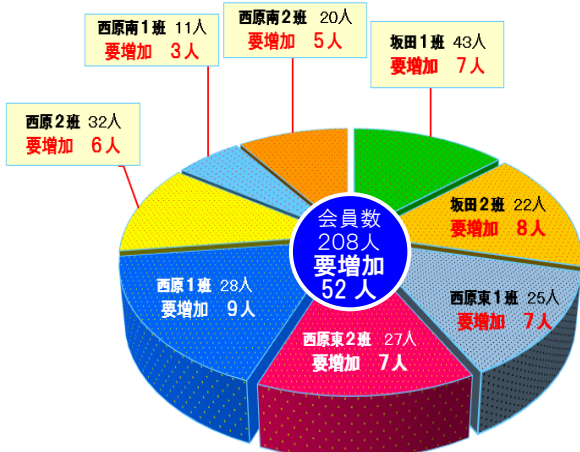
(令和2年3月3日(火) 当センター事務局にて)

センター会員の温かい支援を託す!!

事務局だより

地域班別会員数 (計208人:令和2年6月末現在)

坂田 1班	43人	坂田 2班	22人
西原東1班	25人	西原東2班	27人
西原 1班	28人	西原 2班	32人
西原南1班	11人	西原南2班	20人



当センターの昨年度「入会説明会」参  
加の経路として、「会員からの紹介」が  
39.5%を占めたことから、本年度におい  
ても『会員増強運動要領』策定の下、地域  
班長会を中心に運動を展開しています。

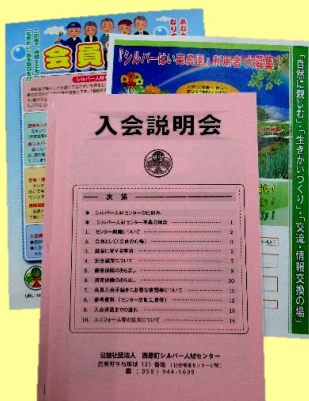
地域班名	自主目標(要増加)
坂田 1班	50人 (7)
坂田 2班	30人 (8)
西原東 1班	32人 (7)
西原東 2班	34人 (7)
西原 1班	37人 (9)
西原 2班	38人 (6)
西原南 1班	14人 (3)
西原南 2班	25人 (5)
目標会員総数	260人 (52)

※令和2年6月現在目標値

① 令和2年7月～8月(2カ月間)  
② 令和2年10月～11月(2カ月間)

会員増強運動 展開!

★ 入会説明会資料



※ 説明会当日、特にお持ち頂くもの  
は、ございません。  
どうぞ、お気軽にお越しください!

● 「西原町のホームページ」にて検索が可能です。  
是非、ご覧ください。

● 「ご友人のお誘い合わせやご家族の同伴も大歓迎!  
※「入会説明会」は電話でも受け付けています。  
※当該の第4金曜日(都合が合わない場合  
でも、お電話でお気軽にご相談ください。

● 入会説明会(随時受付)  
毎月第4金曜日(午後2時開催)  
場所:公益社団法人西原町シルバー人材センター  
西原町字与那城一三五番地(社協二階)  
(西原町中央公民館敷地内)  
お問い合わせ: ☎944-1699

● 会員になるには  
西原町にお住まいの健康で働く意欲のある原  
則60歳以上の方で「入会説明会」を出席され  
た方。

「入会説明会」にご参加ください!

町内にお住まいの60歳以上の皆様